

始めるのが有効であるとする市町村が多いため、県としてはこれを入口に財政支援と併せて、支え合い活動の参考となる手引きの作成、勉強会の開催等により、担い手づくりの支援を行っていく。

● 新年度の新規事業から～岐阜県成長・雇用戦略の展開

アベノミクス3本目の矢である「成長戦略」は、日本の今後の景気経済を向上させる上で、重要な鍵を握っています。これには政府が取り組む政策に加え、地方がその特性を生かした独自の「地方版成長戦略」を考え、実行することも重要です。岐阜県では、今後成長が見込まれる産業の育成・強化、企業誘致、成長するアジアをはじめとする海外戦略、競争力強化、さらにはこれらを支える人材育成、インフラ整備について、「岐阜県成長・雇用戦略」として重点的に取り組んでいくことになりました。

■ 成長産業の育成

今後20年間で世界の航空機需要が2倍以上になることが予測される航空宇宙産業や少子・高齢化社会の進展によって需要の増加が確実である医療福祉機器産業、リーマン・ショック以降も大きな変動が見られず安定している食料品分野、医薬品分野、並びに、将来ますます普及が見込まれる次世代エネルギー分野について、重点的に県内への集積を図るとともに、育成・強化していく必要があります。

■ 観光産業の基幹産業化

岐阜県の観光入込客数は全国でも上位ですが、宿泊客数、観光消費額は中位にとどまっています。岐阜県が目指す「観光産業の基幹産業化」を実現するためには、入込客数のさらなる拡大のみならず、観光資源の魅力向上や連携促進等を通して、滞在時間の拡大及び観光消費額単価の底上げを図ることが必要です。



■ 若年者の雇用支援

岐阜県では、20代から30代の若者を中心に、年間約4千人規模の人口が流出超過となっていますが、その大きな要因は「職業上」の理由です。県内に若者や女性が活躍できる場を設け、住み続けたいと思える地域づくりを進めるために、雇用対策を行います。

平成26年度の岐阜県予算では、こうした分野への企業立地を促進するための、補助制度や優遇税制、製造設備に対する低利のリース、技術や販路拡大支援など、多数のメニューを盛り込みました。中小企業の経営者の方への情報提供と利用しやすい制度の充実に向け、私は3月の県議会定例会で質問に立ち、強く要望しました。



ご意見・ご要望・ご相談 お寄せ下さい

行政への要望や生活相談など、お気軽にお寄せ下さい。
法律相談のご紹介もします。

TEL/FAX) 058-215-8195 E-MAIL) yoshmzn@gmail.com

朝の街頭演説実施中!

以下の場所で、街頭演説を実施しています。
見かけたら声を掛けて頂ければ幸いです。

- 月曜日……国道256号線と環状線の「福光東2東」交差点 AM8:00～
- 火曜日……マーサ21前の「正木古川東」交差点 AM8:00～
- 木曜日……忠節橋を南進。西野町交差点 AM8:00～
七郷小学校北側の交差点 PM5:00～
- 金曜日……西 岐 阜 駅 前 AM7:30～



岐阜県議会議員

水野よしちか通信

第11号 2014.春号



岐阜県議会公明党 編集・発行 水野吉近 岐阜市鷺山白鷺町1769-2 TEL)058-215-8195 E-MAIL) yoshmzn@gmail.com

● ごあいさつ



新年度が幕開けとなりました。皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。4/1から消費税が引き上げられ、今後の景気動向が懸念されるところですが、政治の安定を背景に21世紀最速で成立した、国の平成26年度予算事業を早めに執行することにより、切れ目のない景気経済対策が実行されることを期待したいと思います。

岐阜県でも、今後成長が見込まれる産業の育成・強化、企業誘致、成長するアジアをはじめとする海外戦略、競争力強化、さらにはこれらを支える人材育成、インフラ整備について、「岐阜県成長・雇用戦略」として重点的に取り組まれます。

今年度も「小さな声」を大切に、岐阜県政の諸課題に全力で取り組んでまいります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

岐阜県議会議員 水野吉近

● 2014年2月3日 介護ロボット導入へ モニター調査を視察

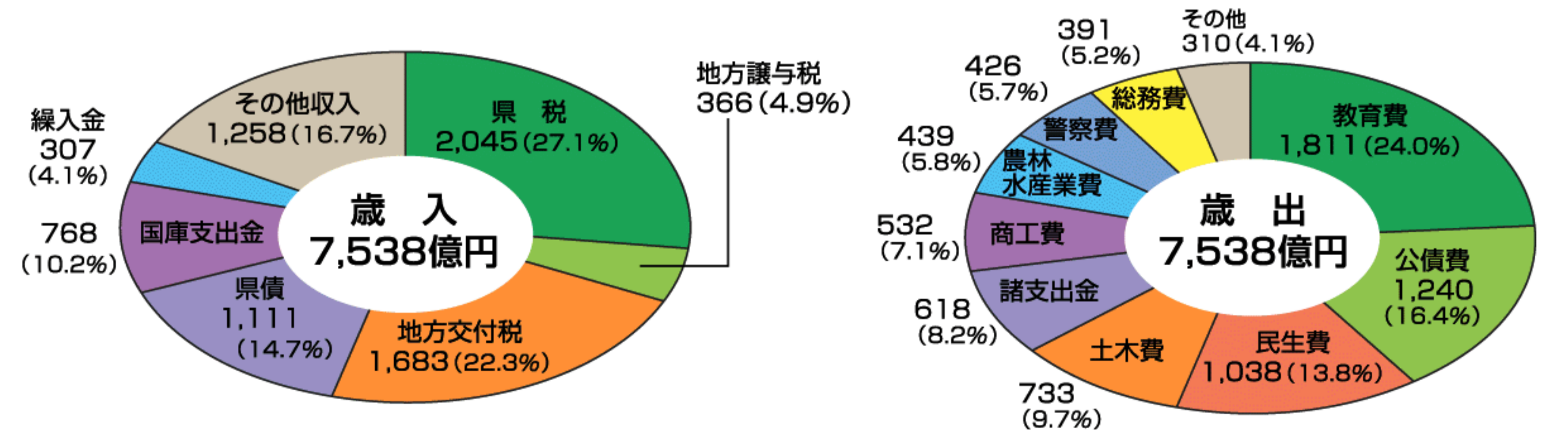


私は介護ロボットの普及について、昨年12月県議会の代表質問の中で、厚生労働省や経済産業省が、ロボットの開発や普及を支援していることを取り上げ、「県内でも現場の実情に合ったロボット機器の導入を進めるため、県が積極的に取り組むべきだ」と訴えました。岐阜県は今年から、県立寿楽園（特別養護老人ホーム）で、県内初となる介護ロボットのモニター調査を行うことになり2月3日、その模様を視察いたしました。

試験導入されたのは、歩行が困難な人をロボットのアームで抱え上げ、車椅子やトイレへの移動を補助するもので、アームは人間の動きを再現し、介護者の負担軽減や利用者の転落防止の効果が期待されています。寿楽園の担当者によると、これまでは類似の機能を持つ器具を使ったり、介護者が人を抱えて移動させていたことから、介護者の負担が大きかったとのこと。今回のモニター調査を受け、メーカーでは今年の5月に同機器の販売を開始するとのことでした。



● 岐阜県の平成26年度予算の概要



- 予算規模 7,538億円 (対昨年度+75億円、+1.0%) 2年連続の増額予算
- これまでの行財政改革の推進により、構造的な財源不足は解消され、平成25年度決算では、起債許可団体から脱却できる見込みで、本県の財政状況は健全化に一定の目途がつつある。引き続き歳入・歳出両面にわたる行財政改革にしっかりと取り組み、節度をもってメリハリの利いた財政運営に努める。
- 平成26年度予算では、「清流の国ぎふ」づくり、新たな「成長・雇用戦略」の展開、確かな安全・安心の社会づくりなどの重要な政策課題への対応を念頭に予算編成が行われた。